

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	大阪J いのちの授業
活動テーマ	教職員や地域住民の救急医療・防災力向上を目的とするいのちのラリーと学びブース



【活動名・テーマ】第6回高槻市小学校救命ラリー 知っていますか?!～未然に防ぐのも救命です～

【目的】救急・災害医療の最前線で活躍する多職種(救急救命士、消防士、医師、看護師、薬剤師、大阪医専学生)が連携し、有事の際の対処法である「いのちの授業」を地域密着型で実施している。「いのちの授業」を受講した教職員、地域住民がチームを組み「高槻市小学校救命ラリー」に挑戦することにより、有事の際に推奨される対処ができるか検証するとともに、学びの場を提供することを目的とした。

【活動の実施方法】開催日:2019年11月2日(土) 会場:高槻市立桃園小学校

対象:地域住民(成人12名 内、教師8名、ラグビー指導者4名 1チーム3～5名からなる3チームを構成)

参加者は、チャレンジブースにおいて学校で起こりうる救急医療のシナリオ3項目に挑戦した。チームに対する評価は、救急救命士がチェック項目に基づき成果をスコア化し、各ブースでフィードバックを実施した。学びブースでは「エピペン®の使用法」と「二次救命処置」を見学したのち、実技訓練を実施した。

【得られた成果】参加者から、「一次救命処置の訓練を受けていても、救急医療のシナリオに対応となると気持ちが焦り、何をすればよいのかわからなくなってしまうことがあった。」「エピペン®の使い方や気道挿管はあまり学ぶ機会がないので、良い経験でした。」「継続して訓練を受けたい。」との意見が寄せられた。参加者のアンケート結果および、スタッフから得られた今後の課題を「いのちの授業」の授業内容に反映させるとともに、2020年度開催予定のラリーについてブラッシュアップしていく予定である。